

【活動助成コースの部】

No	団体	内容（活動テーマ・資金使途・主な活動地域）
1	高知CAP	CAPとは子ども自身があらゆる暴力から大切な心や身体を守るために何ができるかを伝える人権教育プログラムで、子どもたち、保護者、教職員、地域の方々などに子どもの安心・自信・自由の3つの権利について考えてもらいロールプレイを通じたワークショップを行って広く啓発していく。CAPサポーター研修講座や、児童虐待、DV等の研修会を開催。ワークショップ諸経費として会議室代、交通費、講師料、印刷費、事務経費、通信費、プロジェクター、机等購入費等総費用 高知県
2	共同作業所森のいえ	在宅で生活する精神障害者が、市街地から離れた豊かな自然環境の中で仲間や職員、地域の人々と共に働く喜びを味わいつつ、炭焼作業を通じて労働意欲の喚起や人と人との接し方等、生きる力を育み、身体健康回復を図ると共に、心の豊かさを養い社会復帰を促進する。山から原木を切り出し、炭にし、商品加工をして販売している。作業所の通所生の給料は、その売上を原資としており、作業をスムーズにするため、少しでも多くの道具が必要。購入費用。四万十市。
3	特定非営利活動法人 障害者支援センター南国	障害児者・家族の相談、調査・研究、研修、情報提供、交流等の活動、生活・介護への支援事業を行い、障害児者・家族の福祉・教育・医療・保健の増進をはかり社会福祉に寄与する。小規模作業所「きてみいや」を運営。中央東広域にて知的障害者相談員連絡協議会事務局を運営。今回は6～8月のリフレッシュ旅行(宿泊・団体行動訓練、社会研修)年4回の会報作成 相談員の研修、勉強会等の活動を実施。旅行費用、会報・パンフレット作成等 南国市
4	特定非営利活動法人 訪問理美容ネットワークゆうゆう	高齢者・要介護者の在宅訪問理美容、山村過疎地域の無美容室・理美容室地域や介護施設・老人施設への出張理美容、介護予防活動、後継人材育成の為の教育活動、給食サービス、広報活動等を行う。本年度は着付講座を高知、安芸、須崎の各市に拡大して実施。機関誌を作成し県内地域団体NPO法人との実践的連携活動の紹介を行う。機関紙の製作、講師の派遣、地域講習会実施経費、交通費、通信費等。高知県。
5	上東を愛する会	上東地域にて、様々な行事や研修等を立案、実施し、地域の発展に寄与する。テーマは、「『PANの学校』楽しゅうに、元気な地域づくり！」PANとは、ドラム缶から作る楽器、スティックのこと。パーカッショニストを講師に招き 演奏の体験・練習 ドラム缶から楽器を作る体験を実施。PANの学校開校により、スティックで演奏できる人材育成、楽器製作技術の習得、楽器の製作、「上東スティック楽団」結成スケジュールの検討、地域の将来を考える住民意識の醸成等を目標。講師謝金、旅費、スティック購入費等。上東地域

公益信託「こうちNPO地域社会づくりファンド」

平成18年度ファンド助成を受けた団体の応募（活動）内容等

助成応募児の公開審査会（プレゼンテーション）資料等を抜粋加工

No	団体	内容（活動テーマ・資金使途・主な活動地域）
6	CAP土佐やいるちょう	テーマは、「CAP(子どもが暴力から自分を守る)の教育プログラム推進」。子どもを取り巻く社会に対し、CAP活動を広め、子どもの人権が尊重される社会の形成に寄与することを目的。保育所、幼稚園、学校及び地域に出向き、CAPプログラムの「大人ワークショップ」「子どもワークショップ」を提供し、事故及び事件の防止活動を展開。各ワークショップは有資格者により実施するため、当初は、資質向上を主眼とした研修事業、後期は実際に活動ができるように基盤固めを図る。研修費、図書購入費、事務費等。四万十市 立上げ
7	特定非営利活動法人 高知こどもの図書館	児童図書を中心とする本・関連資料を揃え、こどもの本や児童図書館の質的向上を目指し、子育て支援事業を行う。子どもの読書活動のボランティアに積極的に関わりたいという思いのある人たちに、子どもと本の橋渡しをする役割を学んでもらうため、連続講座を開催し、県内の子どもたちに本を手渡す人々の輪を広げネットワークをつくる。高知市、佐賀町、安芸市の3カ所で5回連続講座、3回連続講座を実施(9月は県外から講師を迎える)。講師謝金、旅費、消耗品費、通信運搬費、会場費等。高知県内
8	特定非営利活動法人 ハートリソク・コミュニティ	若年者等の就労や将来の社会構造を考えていく上で社会問題となっていること、引きこもりの支援対策をテーマに掲げ、ネットや関係する家族の方の相談援助を中心に活動している。ネットやリターへの差別意識や偏見をなくし、その支援策を考えていく契機作りと情報提供を行ない、当事者間のネットワークをつないでいく。「ネットと親子のためのほっとカフェ」を継続開催、公的機関やNPO等支援に関する専門家を招き後援をもとに意見交換を行なう。講師謝金、印刷費、機材費等。高知県内。
9	ゆすはら・すくすく・ネットワーク	梶原町の全ての子供たちが健やかで情操豊かに成長することを願うと共に、地域社会で共に考え、支えあうことで男女共同参画社会の実現を目的。梶原町では、高齢化、共稼ぎ家庭の増加、少子化を背景に、女性の担い手の割合の増加、保育所不足要請、対人関係を持っていない子の増加等が見られ、支援策として、土日祭日、平日時間外保育、低学年を対象にした学童保育等の子育て支援活動、子育てボランティアの実施、男女共同参画の勉強会及び活動を行なう。土日保育、学童等委託料等。梶原町
10	特定非営利活動法人 要約筆記・高知やまもも	聴覚に障害をもつ者、主として難聴者及び中途失聴者のためのコミュニケーション支援（情報保障）の拡充並びに社会参加の促進を図るために、手書及びパソコンの要約筆記により情報保障する事業を行ない、聴覚障害者福祉の増進の寄与を目的。要約筆記奉仕員の派遣・養成。要約筆記技術向上のための勉強会。会報の発行。講演のテープ起こし、障害者福祉事業の援助等。子供たちのための要約筆記出前講座を春、秋に1回ずつ行なう予定。積極的参加できるよう、携帯用机用ボードを自作。材料費等。高知県内。

公益信託「こうちNPO地域社会づくりファンド」

平成18年度ファンド助成を受けた団体の応募（活動）内容等

助成応募児の公開審査会（プレゼンテーション）資料等を抜粋加工

No	団体	内容（活動テーマ・資金使途・主な活動地域）
11	土佐伝統食研究会	県内農林水産物を素材として伝承されてきた食べ方（調理・加工）や技術保持者についての情報収集を行い、次世代に伝えていくための資料化・啓発活動に取り組む。月1回の研究会開催、高知新聞社への3年に渡る地域伝統食取材協力の総括。県内の「食生活の健全化」を目的とするグループとの連携協議。地産食材の健全な利用法の収集、開発、普及。地域伝統食取材総括の食材費・交通費補助、事務費、会場借料等。高知県内
12	特定非営利活動法人 高知まちづくり支援ネットワーク	まちづくりに関わる地公体、企業、プランナー、大学、研究機関、市民が連携し、まちづくりに関する調査・研究・交流・情報収集と発信を行なうことにより、高知におけるまちづくりを支援し、よりよい地域社会づくりに貢献することを目的とする。「まちづくりサロン」を開催し、幅広いまちづくりからテーマを設定し、テーマに沿った講師を招き、講師のまちづくりの経験を聞き、参加者で議論する。サロンの内容を集約し、「高知のまちづくりの現在（仮題）」として出版する。講師交通費、謝礼、資料作成費等。高知県内。
13	高知演劇ネットワーク・演会	様々な立場や視点から互いに情報交換することによって、高知における芸術・文化としての演劇をより豊かに発展させ、地域に貢献することを目的とする。テーマは、「高知発全国水準の演劇を県民に還元！県外に発信！」。昨年は世界水準の演出家を迎え、「ハッダ・ガブラー」「誤解」の製作・上演が実現。県内のみならず、名だたる演劇関係者の間でも高評価。本年は、県内の地域ホールでの上演（佐川町・桜座）、県外での招聘講演（高松）等。人件費、交通費、制作費、滞在費等。高知県。
14	精神障害者小規模通所授産施設 サポートぴあ (社会福祉法人土佐あけぼの会)	活動テーマは、「NPO法人活動支援、会計教室」。NPO法人として開設したものの会計が二の次となり運営責任が果たせず活動を止めざるを得ないようなことがないよう、事務未経験者等への会計のマンツーマンサポートを行なう。平成12年より複式簿記1教科教室を行い、好評。現在、社会福祉法人授産会計、NPO法人会計のサポート教室を行なっている。本年も、NPO法人会計入門教室、会計重要ポイントサポート教室等を行なっていく。講師・助手謝金、印刷費、会場費、広報費等。高知市。

公益信託「こうちNPO地域社会づくりファンド」

平成18年度ファンド助成を受けた団体の応募（活動）内容等

助成応募児の公開審査会（プレゼンテーション）資料等を抜粋加工

【ハード整備コースの部】

No	団体	内容（活動テーマ・資金使途・主な活動地域）
1	川北連合子ども会	安芸市川北地区の子どもの健全育成を目的に、年間を通じて子どもの自主的活動を地域の大人がサポートする形で活動を展開。野外活動や、地域開催の祭事への参加、防火活動等の地域社会活動にも参加。防火活動巡回中に子どもより、同地区には防犯灯の設備が著しく不足しているという提案があり本件申請。市当局に設置の要望書を提出、地権者の承諾も得る。防犯灯設置により、児童生徒の登下校の安全確保と更なる地域の防犯活動を進めていくもの。7月に防犯灯25機を設置予定。安芸市
2	畑山夢楽実行委員会	テーマは「図書館環境づくりプロジェクト～創作の里（畑山の学校）づくり～」。畑山の、どこか懐かしい静かな環境を活かし、「知る」「学ぶ」「考える」「創る」を楽しむプロジェクトを進めている。寄贈本図書館や、様々な体験教室、アトリエ、コンサート、作品展等の開催により、創作意欲あふれる里づくりを目指す。今般、旧畑山小中学校体育館で仮オープンしている「寄贈本図書館」を本館へ移行し、図書館備品の整備や、家具製作等を目的に本件申請。（家具製作については、工科大、高知工業高と協働）。安芸市